

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオン三原店

(2) 事業所の所在地

広島県三原市城町 2-13-1

(3) 業種

5611 百貨店・総合スーパー

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、平成30年度から平成32年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

- ・店舗のエネルギー使用量削減によるCO2排出量の削減を継続して実施。
- ・店舗設備の年間設備点検・整備計画に基づく設備稼働効率の維持管理の実施。
- ・従業員へ電気使用量実績を公表し日々の削減への意識付けを行っていく。
- ・従業員へ無駄な使用について削減に努めていく。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 29 年度	平成 29 年度
二酸化炭素	2,945	2,945

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成29年度)		削減目標		目標年度 (平成32年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	2,945	2.0	59	2,886		
非エネルギー起源CO ₂				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	2,945	2.0	59	2,886		
温室効果ガス みなし排出量		-		2,886		
目標設定の考え方	・ ISO14001活動での電気使用量削減目標と連動した目標とした。					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	・電気使用量削減	・昨年対比2%削減	・省エネチェックリストに基づく店舗設備の日常点検及び年間設備点検計画等による効率運転による削減。
2	・資材使用量削減	・衣料用レジ袋、食品(水産専用)ポリ袋の使用量昨年比5%削減	・各店目標削減量を設定、発注管理・在庫管理の一元化による必要数量の発注による削減。無駄の削減。
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	無し	
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	無し		
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

- ・店舗責任者店長を推進責任者・人事総務課長を推進者とし年1回従業員全体にISO14001研修を通じて温室効果ガス削減への取組実施。
- ・施設管理において、設備の日々の点検・年間設備点検・整備計画による設備の運転効率の維持改善の推進

(2) 実施状況の点検・評価

- ・省エネチェックリストに基づく店内設備の稼働状況のチェック確認による効率運転の継続、
- ・3か月に1回電気・ガスの使用量実績を確認、削減への取組を評価。各店削減計画の見直しの実施。

(3) 計画書等の公表

- ・公表は各店舗にて実施。事前に連絡要